

術中の操作

■ 電源スイッチ



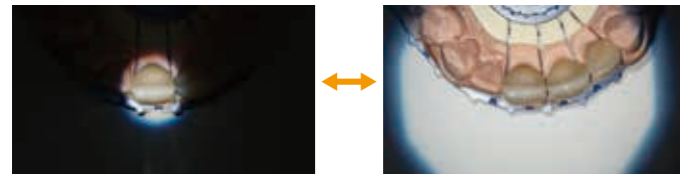
※LED照明のオンオフは鏡筒の上げ下げで操作可能です。

■ 光量調整



■ 照射野のしぼり

鏡筒背後のレバーにて照射野の調整が可能です。照射野を絞ることで治療部が見やすくなるだけでなく、アシスタントの目にも優しくなります。



■ オレンジフィルター

オレンジフィルターを使用することで充填材の硬化促進を防ぎます。



製造元
Karl Kaps GmbH & Co.KG 社(ドイツ)

販売元
TODENT 東京歯科産業株式会社

東京本社：〒101-0021 東京都千代田区外神田6-10-5
TEL:03-3831-0176(代)/FAX:03-3835-8254
大阪支店：〒564-0052 大阪府吹田市広芝町8-12第3マイダビル203
九州支店：〒812-0028 福岡県福岡市博多区須崎町4-23
TEL:092-281-5625/FAX:092-291-7553



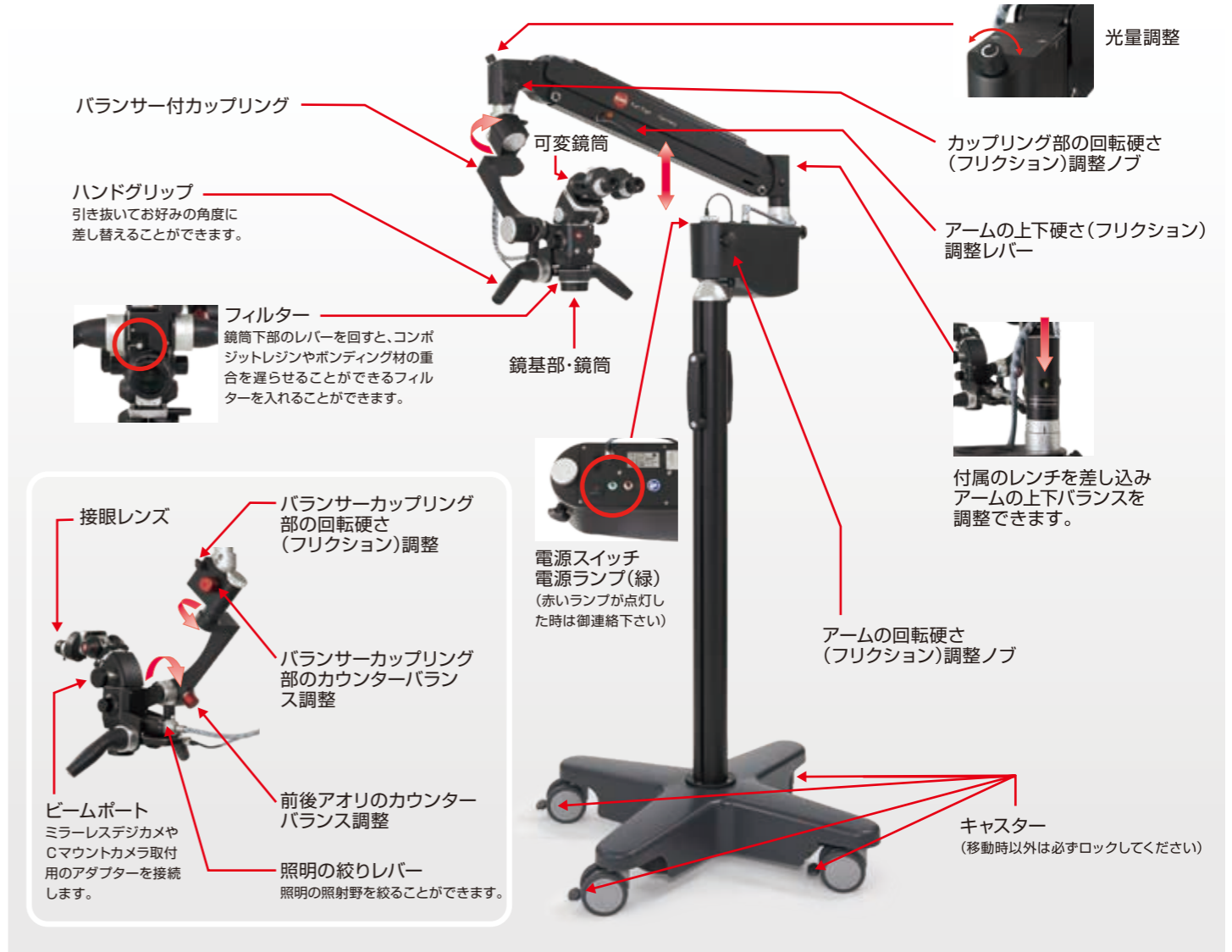
マイクロスコープ

KAPS 1100 取扱説明書

カプス1100



部位説明



■ 可変鏡筒

可変鏡筒が標準装備されており、下記のように鏡筒を動かすことができます。



■ ローテーション機能

ローテーション機能が標準装備されており、下記のように鏡筒を回転させることができます。左右に傾けると接眼部も傾きますが、ローテーション機能により接眼部を回転させて水平に戻すことができます。このため術者は自然な姿勢で診療することができます。



注: このネジは鏡筒取外し用のネジですので緩めないで下さい。鏡筒が落下する恐れがあります。ローテーション機能ロックネジ (使用するときには緩めてください)

ご使用になる前の設定

■ 瞳孔間距離の設定

左右の接眼レンズの幅を術者の瞳孔間の距離に合わせます。



■ 視度調整

マイクロスコープでは術者の左右の視力の違いにより、モニターに映像を出力した際に術者にはピントが合っている状態でも、モニターに映っている映像のピントにズレが生じることがあります。ご利用の前に下記手順で視度調整を行ってください。

- 1 接眼レンズの固定ネジ（左右ともにあります）を緩め、視度調整リングを+方向（左回し）に最大に回す。
- 2 平面のもの（名刺の文字など）を対象とし、モニターを見ながら最大倍率（2.5）でピントを合わせる。
- 3 右側の接眼レンズを左目のみで見ながら視度調整リングを+から-の方向にゆっくり回して、ピントが合う位置を見つける。
- 4 ③で合わせた視度調整値（接眼レンズ上部で確認）を左側の接眼レンズに設定する。
- 5 続いて右目のみで右側の接眼レンズを見ながら同じ作業を行う。
- 6 接眼レンズの固定ネジ（左右ともにあります）を締める。

ピント、絞り、倍率の調整

絞り

被写界深度の調整



被写界深度とは？

ピントが合う範囲の広さ。深いほうが広い範囲にピントが合いますが、やや画像が暗くなります。



倍率

メモリと倍率の目安

0.4	=	3.6倍
0.63	=	5.7倍
1	=	9.1倍
1.6	=	14.6倍
2.5	=	22.7倍

※倍率は対物距離250mmの際の概算です。

ピント

ピント調整可能範囲: 200~350mm

フットスイッチを使用して調整します。（電動フォーカス）



■ フットスイッチ

左右のスイッチを踏みピントの調整をします。（電動フォーカス）



■ 電動フォーカスの速度変更

鏡筒下部のネジを回すことで電動フォーカスの速度を変えることができます。

